

地域におけるデジタル実装の現状と民間から見た課題

株式会社シー・ティー・ワイ

2023年4月21日

会社紹介

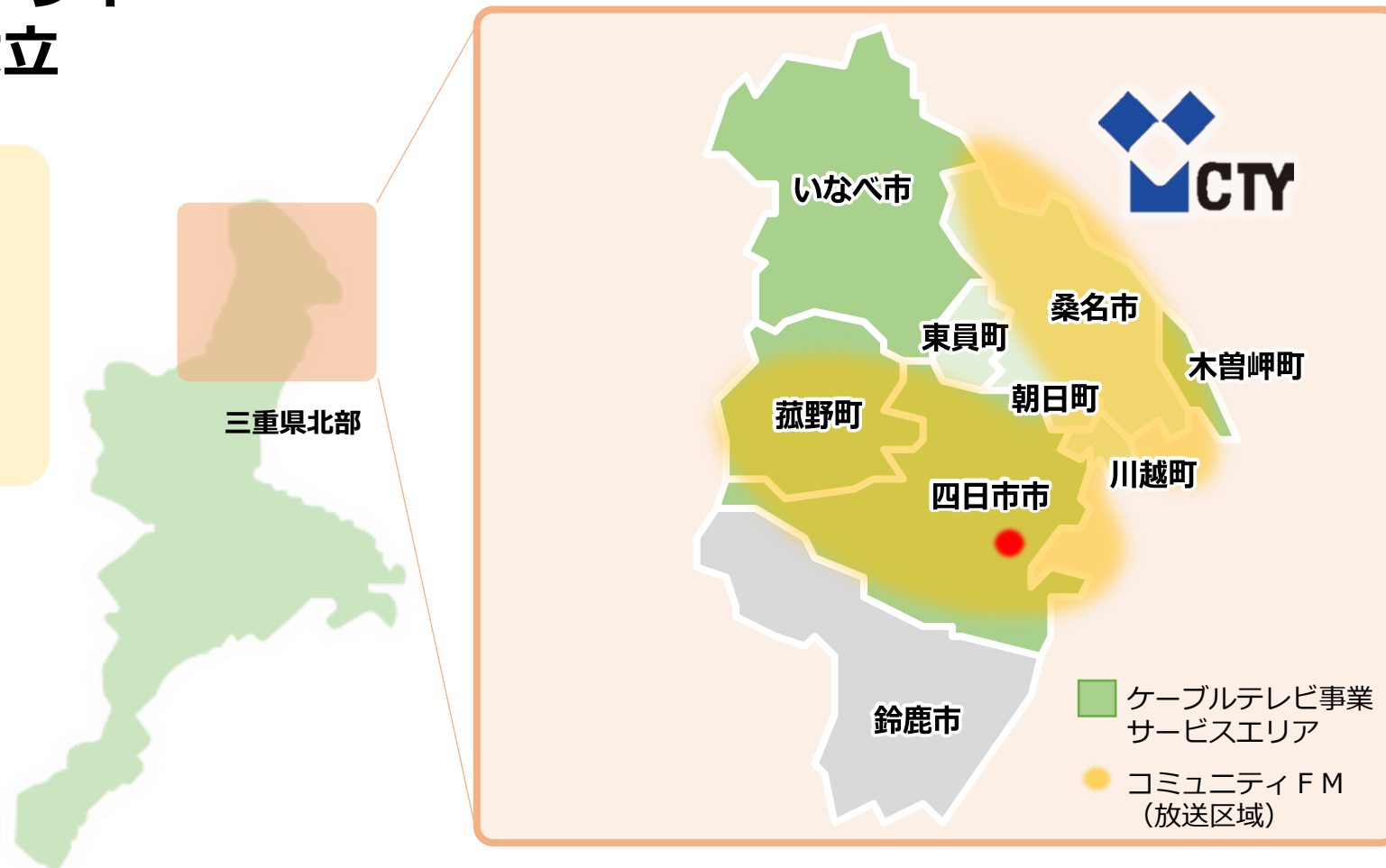
株式会社シー・ティー・ワイ
昭和63年6月20日設立

主な事業

- ・多チャンネル放送
- ・インターネット
- ・電話サービス
- ・コミュニティFM

接続数（接続率）

16万世帯 約90%



- ①通信サービスの高度化と競争の激化
- ②新しい生活様式の浸透による通信需要の拡大
- ③地域におけるDX化の要望の高まり

事例紹介 四日市市

- ・ 臨海部は大規模コンビナート、内陸部には世界有数の規模を誇る半導体工場
- ・ 四日市市は2020年に「新総合計画」を策定



人口	: 308,750人
世帯	: 144,550件
小学校	: 38校 (児童数16,300)
中学校	: 25校 (生徒数9,300)
企業	: 9,200社
農家	: 1,400軒

(令和5年3月現在)



事例紹介 四日市市

まちのスマート化に参画


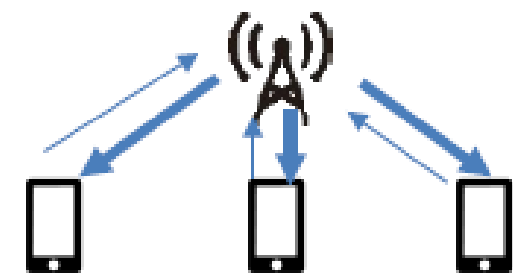

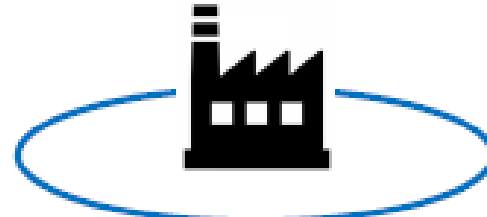
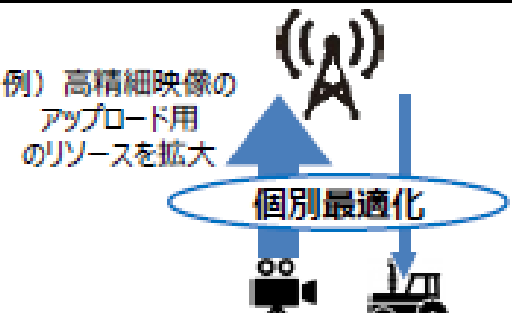

四日市市×CTY スマート化の協定締結

ローカル5G基地局を整備



5Gとローカル5Gの特徴

ローカル5Gは、地方公共団体や企業、団体などの様々な主体が、地域や産業の個別ニーズに応じて、自らの建物や敷地内でスポット的に柔軟に構築できる。用途に応じて個別最適化できるのが特長。

	エリア	性能の柔軟性	耐災害性
5G	 全国	 画一的なニーズを満たす性能	 通信が集中して輻輳が発生する可能性
ローカル5G	 エリア限定のプライベートネットワークでセキュアな通信が可能	<p>例) 高精細映像のアップロード用のリソースを拡大</p>  用途に応じて必要な性能を柔軟に設定	 非常時、輻輳時に強い通信を実現

主催：四日市市、株式会社シー・ティー・ワイ
 後援：総務省東海総合通信局、東海情報通信懇談会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
 協力：四日市商工会議所

ローカル5Gと情報通信行政の最新動向

基調講演会

総務省 官房総括審議官
 (情報通信担当) **鈴木 信也 氏**



主な来賓 総務省、総務省東海総合通信局、国土交通省、国土交通省中部地方整備局、三重県知事、市町長、日本ケーブルテレビ連盟
出席者 日本ケーブルテレビ連盟加盟企業、地域企業、近隣自治体ほか
報道 〔テレビ〕三重テレビ、CTY〔新聞〕中日新聞北勢局、電波新聞〔専門誌〕B-maga、ニューメディア〔フリーペーパー〕Youよっかいち

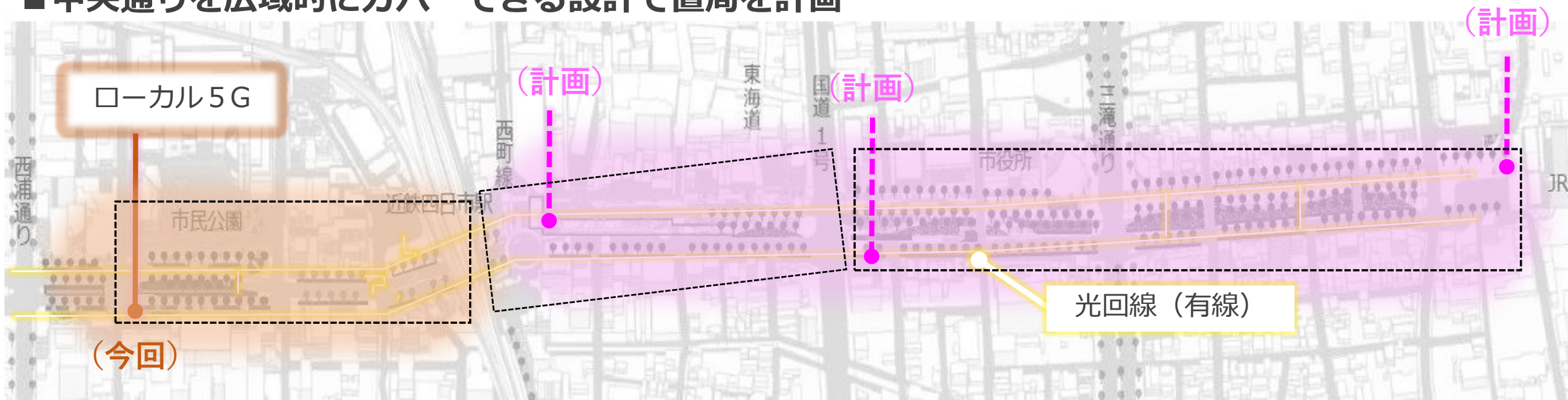
関係者の来場約500名、一般市民含め1,000名を超える皆様にご来場いただきました。



中央通りスマート化の検討状況

- ・ 中央通りの再編工事が進む近鉄四日市駅西側でローカル5Gを扱う免許を取得
- ・ 整備の進捗とともにこのエリアを広げ、約1.6キロ先のJR四日市駅まで伸ばす計画
- ・ 公道で、広い範囲をカバーする整備は全国初

■ 中央通りを広域的にカバーできる設計で置局を計画



中央通り再編にあわせて整備 (期間：令和4年度～9年度)

ローカル5Gを活用した四日市の未来像

中央通りで実証事業 ビジネスをバックアップ

高速通信

テレワーク

産業
ロボット



スマートな情報発信 データの利活用

サイネージ

スマート
街路灯



学生による フィールドワーク

某大との
遠隔授業

研究



ローカル5G

3D広告

配膳
ロボット



スマート図書館で どこでも蔵書閲覧



ハイスpekクな 安全安心

不審者検知
迷子発見

事故原因
解析

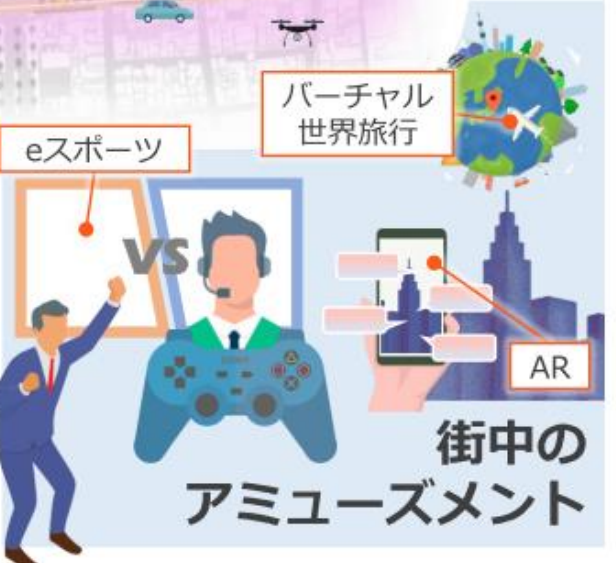


街中の アミューズメント

eスポーツ

バーチャル
世界旅行

AR



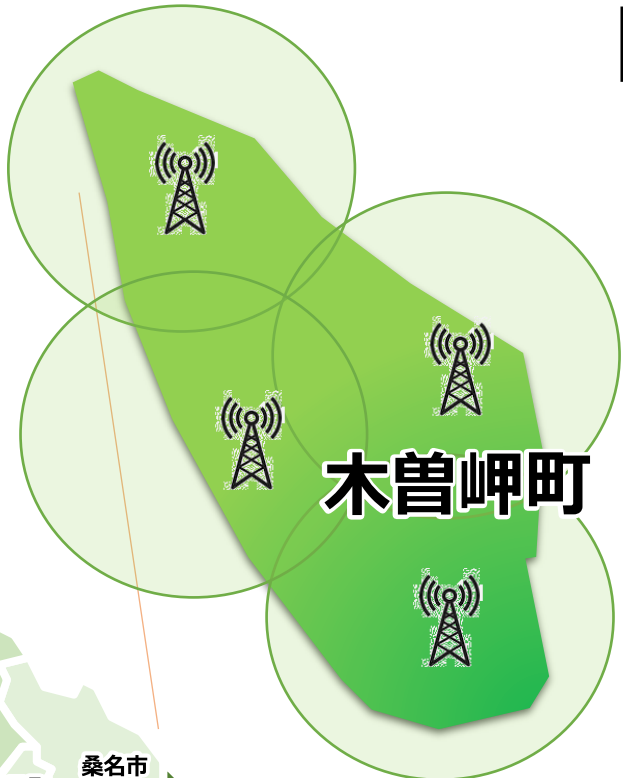
ローカル5Gを活用した四日市の未来像

中央通り再開発の象徴的構造物 円型デッキ



事例紹介 木曾岬町

トマトが名産、コンパクトなまち



まちのキャラクター
トマッピー

人口	: 5,950人
世帯	: 2,500件
小学校	: 1校 (児童数220)
中学校	: 1校 (生徒数150)
企業	: 180社
農家	: 300軒

(令和5年3月現在)



**地域BWAを活用した
ICTサービスを創出**
(総務省様 データ利活用型スマートシティ推進事業)

地域BWAを活用したICTサービス

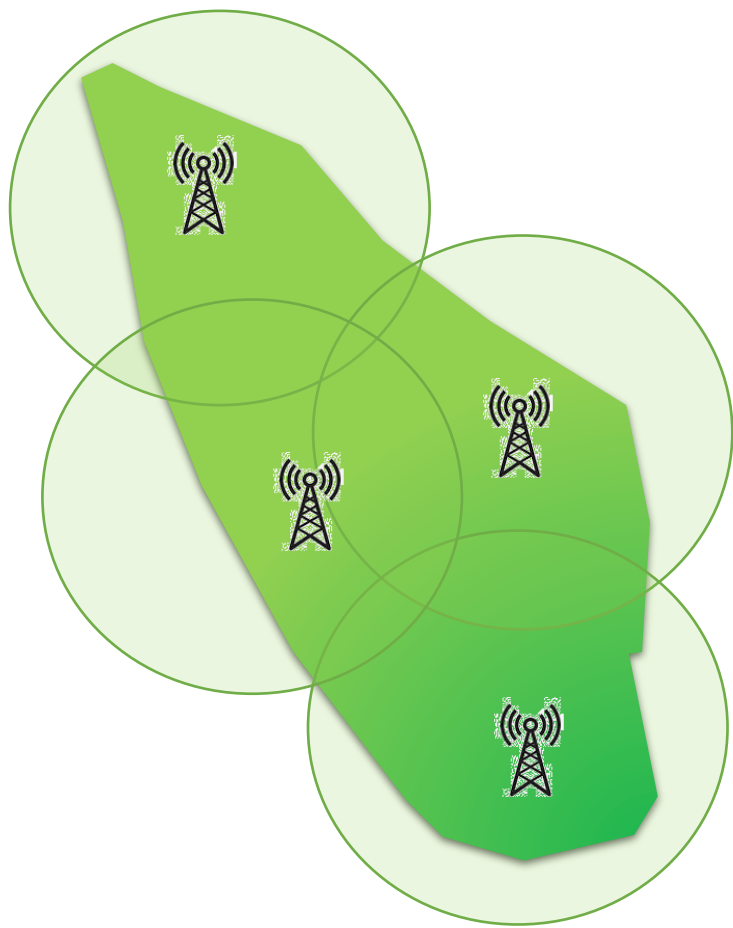
2017～2018
木曾岬町の課題抽出

2019
地域BWA基地局
整備

2020
安全安心ICTサービス
開始

2021
IoT推進ラボ発足
継続提案実施

2022～
ラボを通じて
継続提案実施



- ✓ **木曾岬町の課題に対して解決に向けて一緒に考え、ケーブル事業者の強みで支援**
- ✓ **当社の光回線に加え、無線通信回線の地域BWAを整備し、町内全域を無線化**
- ✓ **国の支援を受けて負担を軽減
(総務省様 データ利活用型スマートシティ推進事業)**

木曾岬町内全域を無線化

地域BWAを活用したICTサービス



子供の見守りサービス



防犯カメラ



バスロケーション



河川水位監視



避難所Wi-Fi



木曾岬町 位置情報

****年**月**日 **時**分**秒 にバス①: ****を【



近鉄弥富駅 伊勢湾岸クリエーション 上松永

中央線 源緑見入線

この画面について トップへ

(ご注意) 更新タイミングにより表示には時間のずれが発生します

地域BWAを活用したICTサービス

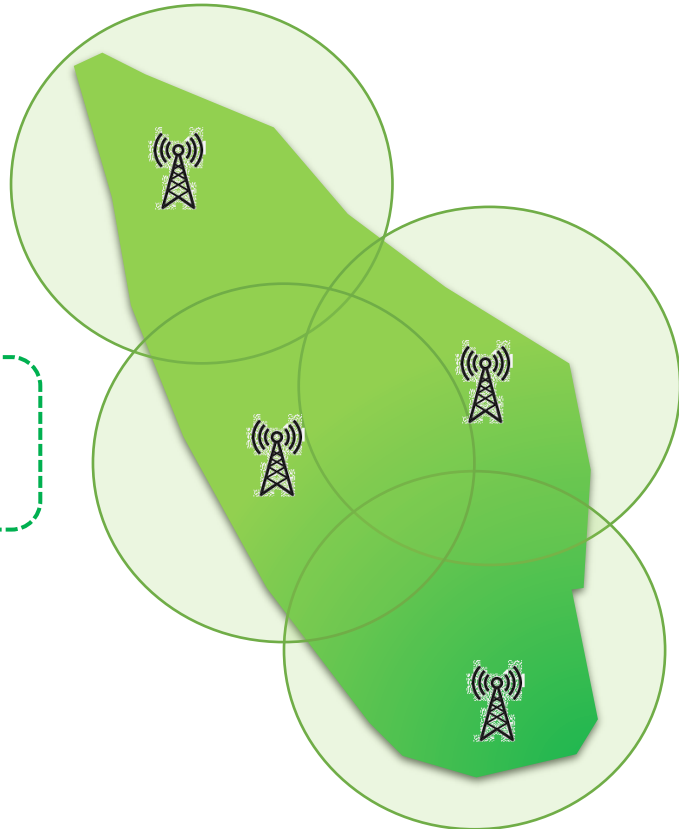


より暮らしやすい木曾岬町へ

大画面モニターでリアル会話！
見守りも診療もラクチン！

完全無人環境で稼働し
いざという時でも安心！

「超」効率化を実現し
無人空輸が身近になる！



自動ドローンで配達！

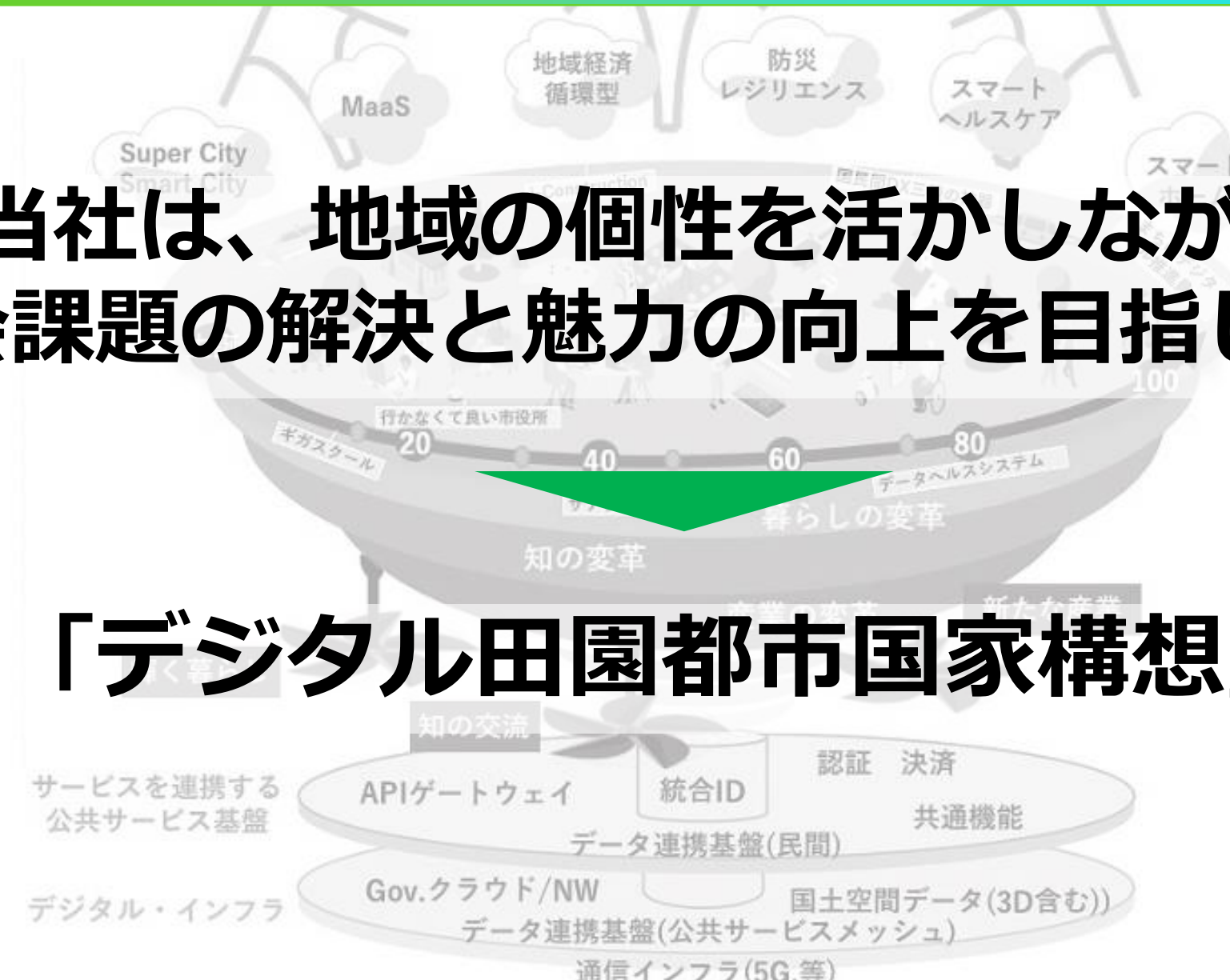
IoTで全てがつながり
貨物追跡が瞬時に可能！

家にいながらトマトの収穫！
状態自動管理で生産量も
くつろぎ時間もUP！！

- ① **事業者側の地域愛とチャレンジ精神**
- ② **自治体の長期計画の準備段階からの並走**
- ③ **自治体職員の熱意**
- ④ **国の交付金、補助金の活用や申請支援**

当社が目指す姿

当社は、地域の個性を活かしながら
社会課題の解決と魅力の向上を目指したい



「デジタル田園都市国家構想」

頼りになるのは
「地元のケーブルテレビ会社」

ご静聴ありがとうございました